

平成29年度 介護保険特別会計の決算の状況

介護保険特別会計の決算の状況は、図4のとおりです。

歳入は、85億6433万円、歳出は83億2356万円で、2億4077万円が30年度への繰越金となります。この繰越金から、29年度分の負担金などの清算として、国や都などに1億6267万円を返還します。

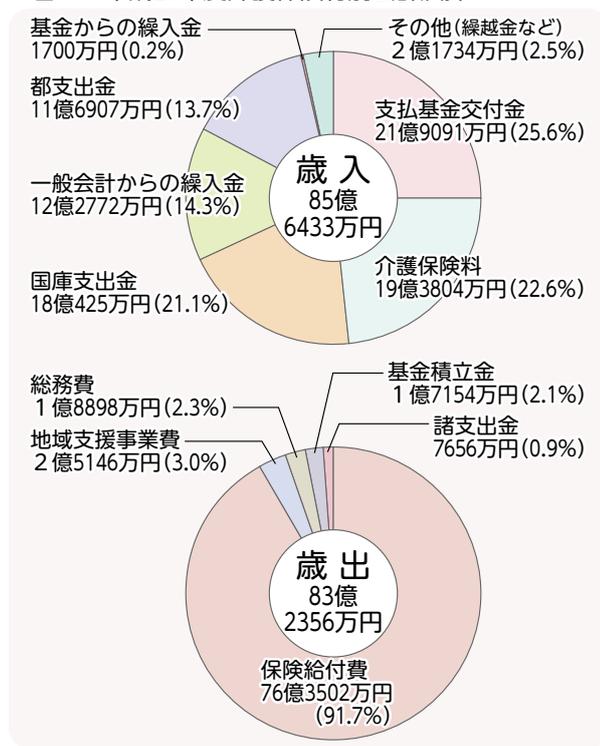
◎歳入

歳入の主なものは、支払基金交付金(40.64歳の医療保険加

◎歳出

歳出の主なものは、保険給付

▼図4 平成29年度介護保険特別会計決算



費で、全体の91.7%を占めています。残りの8.3%は、地域支援事業費(介護予防や地域包括支援センターなどの費用)、総務費(人件費や事務費など)、基金積立金、国・都などへの負担金返還額を含めた諸支出金です。

なお、保険給付費は、50%を加入者が収めた保険料で負担し、残りを公費(国25%、都12.5%、市12.5%)で負担しています。

◎一般会計からの繰入金が増加

28年度と比較すると、歳出の保険給付費が4億508万円増加しました。そのため、国・都の公費負担分も負担割合に応じて増加し、市の一般会計からの繰入金も3738万円増加しました。

◎65歳以上の加入者1人当たりの保険料と保険給付費

65歳以上の加入者1人当たりの保険料は、平均年額6万7426円でした。サービス利用者1人当たりの保険給付費は、施設サービス給付費が平均月額26万7775円、居宅介護サービス給付費が平均月額13万2223円でした。

28年度と比較すると、保険料は402円、施設サービス給付費は

1万5315円、居宅介護サービス給付費は1万3464円増

平成29年度

後期高齢者医療特別会計の決算の状況

後期高齢者医療特別会計は、東京都後期高齢者医療広域連合が運営しています。

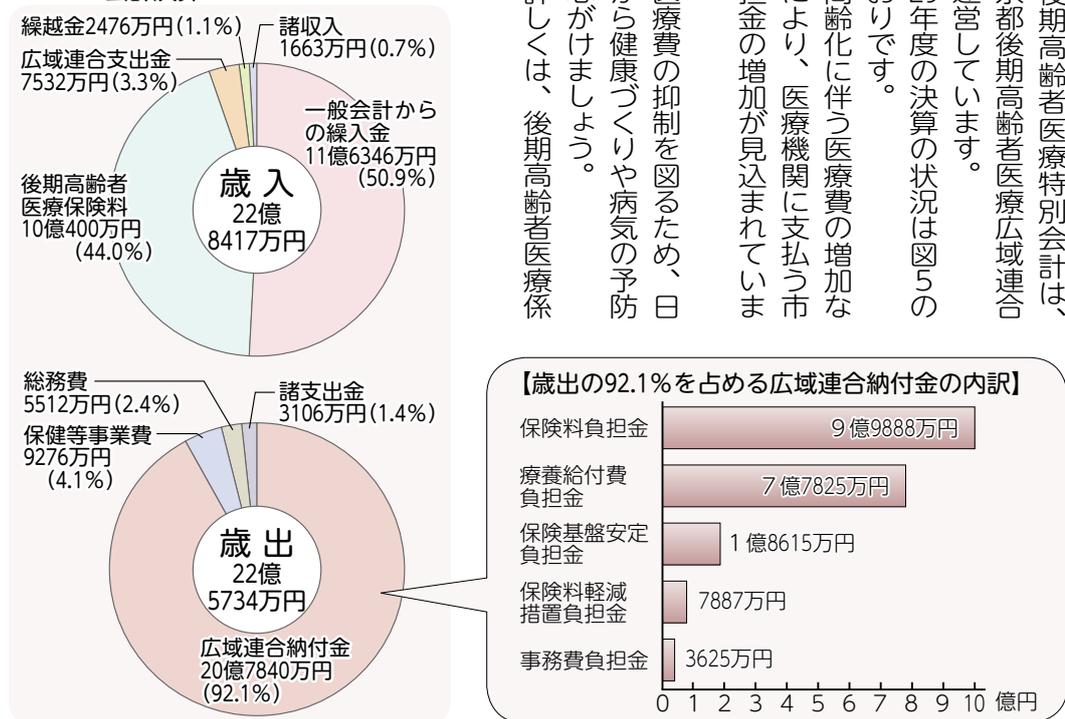
29年度の決算の状況は図5のとおりです。

高齢化に伴う医療費の増加などにより、医療機関に支払う市負担金の増加が見込まれています。

医療費の抑制を図るため、日頃から健康づくりや病気の予防を心がけましょう。

☆詳しくは、後期高齢者医療係へ。

▼図5 平成29年度後期高齢者医療特別会計決算



☆詳しくは、介護保険係へ。